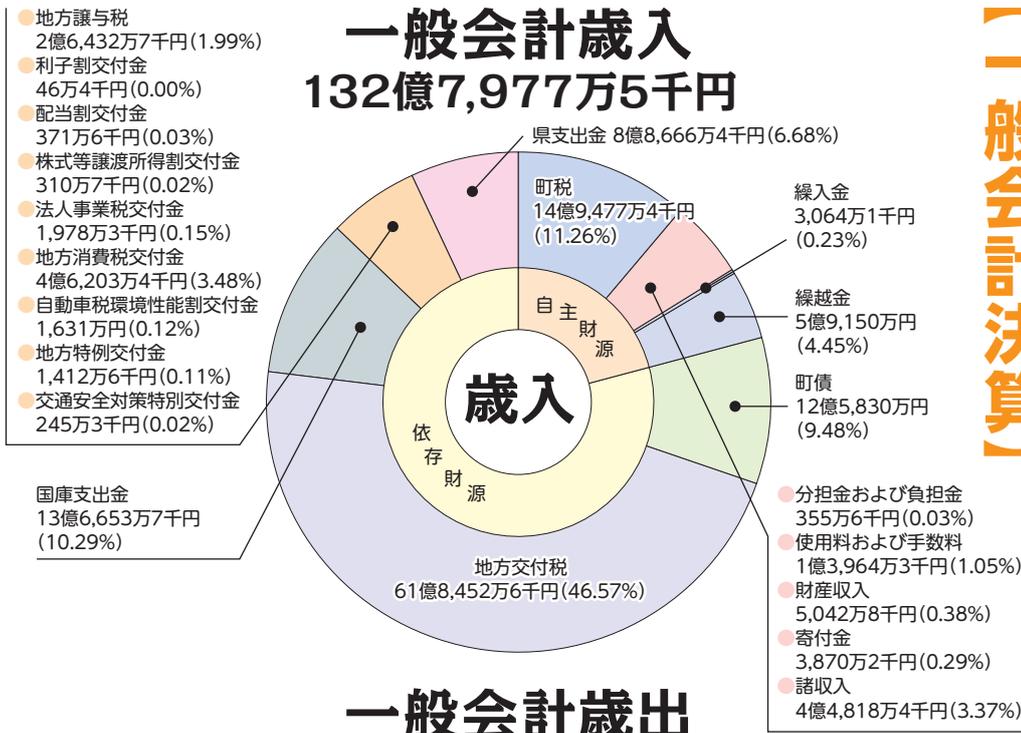


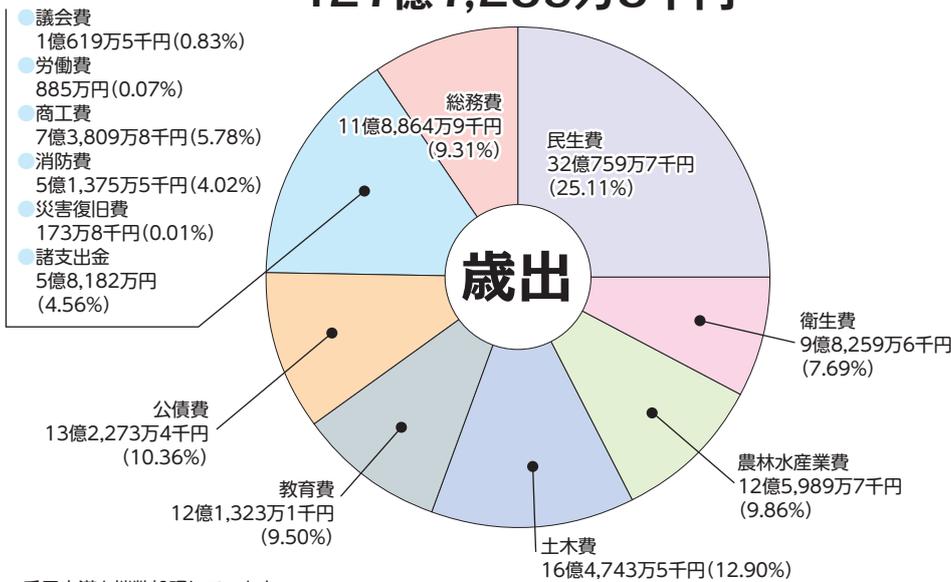
令和4年度 決算を報告します

〔一般会計決算〕

一般会計歳入 132億7,977万5千円



一般会計歳出 127億7,259万5千円



※千円未満を端数処理しています。

令 和4年度美郷町一般会計、特別会計、水道事業会計の決算が、町議会定例会で認定されました。

令和4年度は、「第3次美郷町総合計画」の行動計画(前期)の初年度として、まちづくりの将来像である「美郷らしさ」を誇り、語りたくなるまちとともにつくる未来の美郷」の実現に向けて、特に注力して取り組む施策として位置付けた「みさと重点テーマ」など各般の事業を着実に展開したほか、新型コロナウイルス感染症対策関連事業や物価高騰対策関連事業に取り組みました。

**実質収支は
4億5,620万6千円の黒字**

令和4年度決算額は、歳入132億7,977万5千円、歳出127億7,259万5千円で、歳入歳出差引5億718万円です。これには翌年度に繰り越すべき財源5,097万4千円が含まれているため、実質収支は4億5,620万6千円の黒字となりました。

地方交付税は前年比532万6千円増の61億8,452万6千円になり、一般会計歳入の46.57%を占めました。国庫支出金は前年比3億7,234万円減の13億6,653万7千円となりました。また、自主財源である町税収入は、前年比3,803万3千円増の14億9,477万4千円となりました。

**実質公債費比率はマイナス1.5%
経常収支比率は82.1%**

公債費等による財政負担の度合いを判断する指標の実質公債費比率は、令和3年度決算のマイナス1.3%からマイナス1.5%に改善されました。財政構造の弾力性を測定する指標である経常収支比率は、令和3年度決算の82.6%から82.1%に改善され、今後も新たな行政ニーズや課題などに対応できるよう、財政健全化に向けた取り組みを継続していきます。

令和4年度 一般会計 主な事業と決算額

地域振興券事業	2億4,932万6千円	新型コロナウイルス感染症や物価高騰の影響を受けている町民生活の支援と町内経済の活性化を図るため、地域振興券を給付および販売しました。
こども園施設環境整備事業	1億330万2千円	園児が心身ともにすこやかに成長できるよう、各こども園の施設を整備し、保育環境の充実を図りました。
小学校施設環境整備事業	7,985万5千円	快適な学校環境を維持するため、千畑小学校教室棟屋根改修工事をはじめとする、各小学校舎の改修工事等を行いました。
社会資本舗装補修工事業	1億3,377万2千円	幹線道路の安全な通行を確保するため、町道本堂城回2号線等の舗装補修工事を行いました。
道路除排雪事業	3億4,339万9千円	冬期間の交通を確保するため、町道等の除排雪を行いました。
ほ場整備支援事業	1億8,948万5千円	県営ほ場整備事業実施地区の事業費の支援等を行いました。
堆肥センター等維持強化事業	2億7,737万5千円	町堆肥センターの増設棟を整備しました。
危険空き家解体事業	1,952万8千円	空き家の適正管理を所有者に促し、地域の安全確保を図るため、危険空き家を解体する所有者に対し、費用の一部を補助しました。

【みさと重点テーマ】

快適さ 向上	林道整備事業	3,175万4千円	水源かん養保安林の多面的機能の維持増進等を図るため、林道「七滝山線」の整備工事を行いました。
	河川維持・治水事業	6,716万2千円	町管理河川の冠水被害防止と河川流下能力の向上を図るため、湯田沢川河道整正工事等を行いました。
豊かさ 実感	入学祝金事業	666万円	児童・生徒が小学校または中学校に入学する際に、入学祝金を支給しました。
	芸術文化推進事業	823万6千円	芸術文化意識の醸成と心の豊かさにつなげるため、学友館特別展や音楽コンサートを開催しました。
安全安心	シニア元気 いきいき支援事業	852万3千円	高齢者を対象に、「温泉施設利用券」と「はり・きゅう・マッサージ施術券」を交付しました。
	子どもの不審者等 対策事業	719万8千円	町内3小学校に防犯カメラの設置等を行いました。
活力・賑わい 創出	美郷暮らし サポート事業	1,317万5千円	定住や移住の促進による地域活性化を図るため、定住支援および移住希望者への情報発信や移住体験の提供等を行いました。
	体験型・滞在型 観光推進事業	1,693万4千円	体験型・滞在型観光の実現に向け、登山道周辺整備やネイチャーガイドの育成、レンタサイクルの配置を行いました。

※千円未満を端数処理しています。

令和4年度 特別会計・水道事業会計決算額

美郷町には4つの特別会計があります。特別会計とは、特定の事業を行う場合に、特定の歳入をもってその特定の歳出に充てるもので、一般会計の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合に設置されます。

各会計の令和4年度歳入歳出決算額は、次のとおり全会計において黒字となりました。

会計名	歳入	歳出	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	22億7,524万6千円	21億8,007万5千円	9,517万1千円
下水道事業特別会計	2億4,916万8千円	2億4,146万9千円	769万9千円
農業集落排水事業特別会計	1億9,305万円	1億8,798万7千円	506万3千円
後期高齢者医療特別会計	2億3,138万7千円	2億3,051万6千円	87万1千円
合計	29億4,885万1千円	28億4,004万7千円	1億880万4千円

水道事業会計は、公営企業として、町の会計から独立した経理処理を行っており、施設の通常の維持・管理などの事業運営を行うための「収益的収支」と、水道施設の建設や改良更新工事などを行うための「資本的収支」に分かれています。

「収益的収支」は、事業収益から事業費用を差し引いた純利益が497万4千円となりました。

「資本的収支」は、収入の不足分1億9,524万5千円を留保資金等で補てんしました。

会計名	区分	事業収益・収入	事業費用・支出
水道事業会計	収益的収支(税抜)	3億7,051万4千円	3億6,554万円
	資本的収支(税込)	1億8,617万8千円	3億8,142万3千円